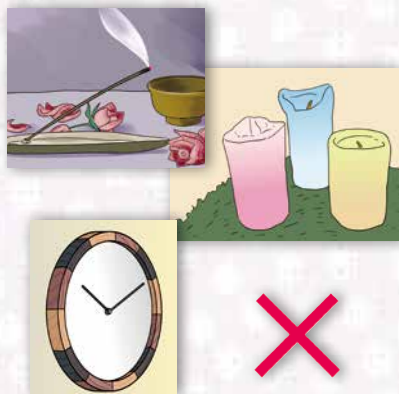


引っ越し

お世話になった方がお引っ越しをした場合など、これまでの感謝を込めて「引っ越し祝い」を贈ることがありますが、単に引っ越しをただけの場合、お祝いを贈ることはありません。

一般的に、自宅を購入した引っ越しは①「新築祝い」賃貸での借り換えの時は②「餞別」、転勤による引っ越しは③「栄転・昇進祝い」などと分けられます。

それぞれのお祝いには、相場や喜ばれる品とNGな品があります。



・火事を連想させる赤いものや火のつくものはNG

・壁に穴を開けたり傷つけたりする贈り物はNG

・熨斗(のし)は「内のし」で!

などですが、上司や目上のへ贈ってはいけないものとして、履き物や敷き物などの、足で踏むものは、「踏みつける」とい

引っ越し祝いのポイント

・引っ越し祝い、新築祝いは新居に招かれたら贈る

・お祝いは高価すぎないように!

内祝いとは?

内祝いとは、贈り物に対するお礼を贈ることです。

本来の意味は、自分の身に良いことがあったときに、その喜びをほかの人にも分けるといふもので、お祝いをもらったなら必ず内祝いを贈るわけではありません。

ただ、結婚祝い、出産祝い、お見舞い、新築祝いでは、お祝いをもらったなら内祝いを贈るのが一般

的になっています。

新居のお披露目に参加した人へは、そのときのおもてなしがお返しとなっているので不要ですが、お披露目に来られなかった人へは内祝いを贈ります。

いただいた金額に対して、1/2～1/3のものを贈るのが基本です。品物を贈るだけでなく、お礼の手紙を添えて送るのがマナーです。